地上デジタルテレビチューナー マニュアル

らくらく!セットアップシート

～ はじめにお読みください ～

35011086 ver.04 4-01 C10-016

BUFFALO

本製品を正しく使用するために、このマニュアルでセットアップをおこなってください。お読みになった後は、大切に保管してください。

- 付属品の内容については、本製品の外箱に記載されています。
- 別紙「クイックリファレンス」に記載の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ずお読みください。

1 B-CAS(ビーキャス)カード(青いカード)を図のように奥までしっかり差し込みます

B-CAS(ビーキャス)カードの青い面が上側になります。

「B-CAS(ビーキャス)」と印字された青い面が上になる向きで図のように差し込みます。

※B-CAS(ビーキャス)カードは付属の台紙に貼付しています。

B-CAS(ビーキャス)カードがはみ出していると地デジを視聴することができません。

本製品を下から見た図

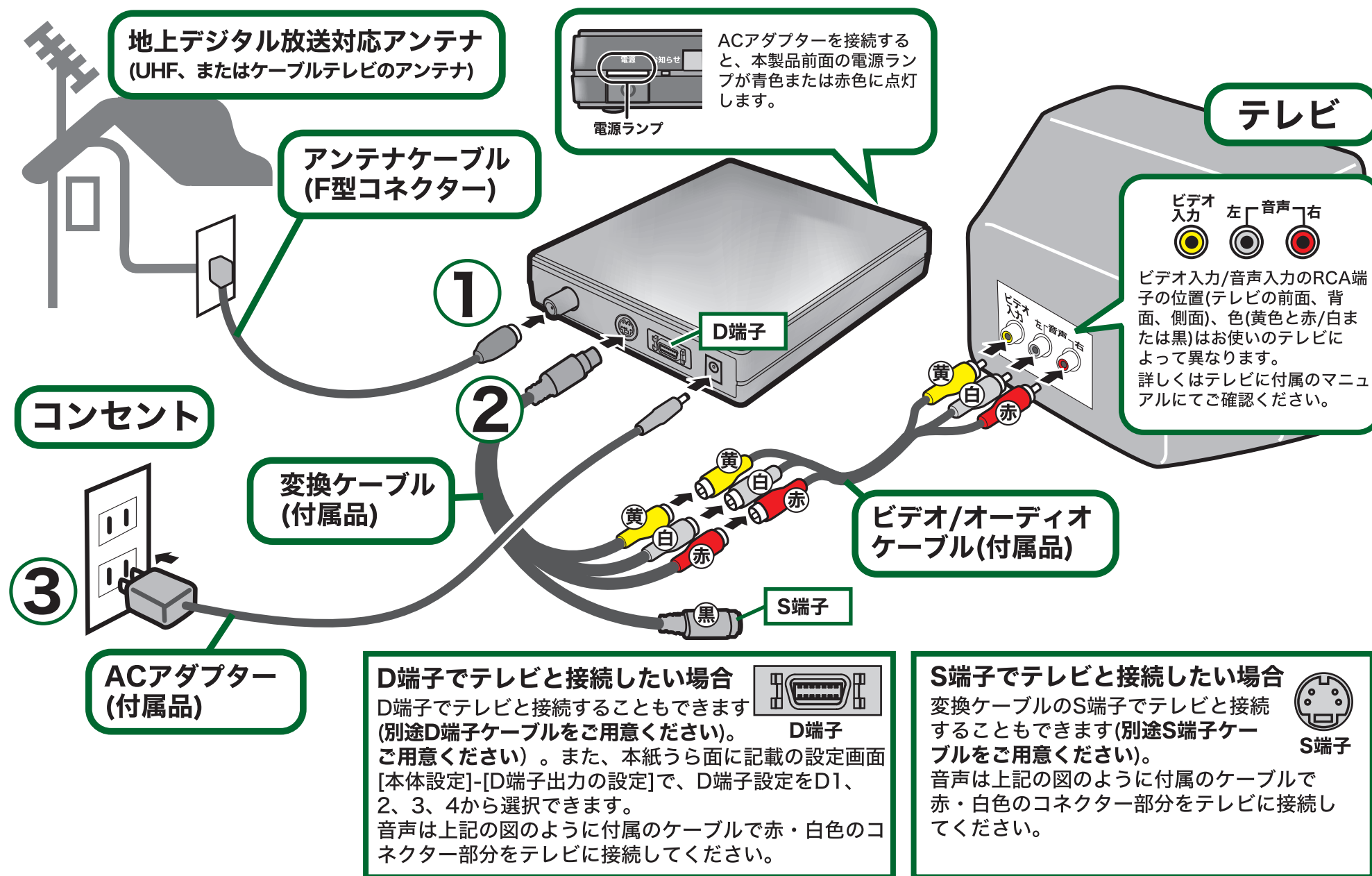
固定用テープについて

付属の固定用テープを本体底面と設置する床に貼付し、本製品を固定することができます。

2 ケーブルを接続します

①アンテナを接続する ②テレビと接続する ③ACアダプターを接続する

⚠注意

アンテナケーブル・ビデオ/オーディオケーブルを本製品に接続するとき(ケーブルを接続し直すとき、ケーブルを変更するときを含む)は、必ずACアダプターを取り外した状態で行ってください。

D端子でテレビと接続したい場合

D端子

D端子でテレビと接続することもできます**(別途D端子ケーブルをご用意ください)。ご用意ください)**。また、本紙うら面に記載の設定画面[本体設定]-[D端子出力の設定]で、D端子設定をD1、2、3、4から選択できます。
音声は上記の図のように付属のケーブルで赤・白色のコネクター部分をテレビに接続してください。

S端子でテレビと接続したい場合

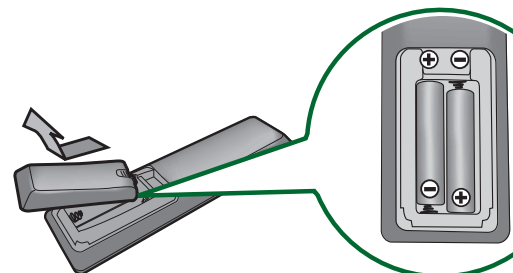
S端子

変換ケーブルのS端子でテレビと接続することもできます**(別途S端子ケーブルをご用意ください)**。
音声は上記の図のように付属のケーブルで赤・白色のコネクター部分をテレビに接続してください。

※D端子ケーブルを接続した場合、映像は自動的にD端子からの出力となります。
※D端子とS端子(黒色)/RCA端子(黄色)を同時に映像出力することはできません。
※S端子(黒色)とRCA端子(黄色)を同時に映像出力することはできますが、音声はRCA端子(赤・白色)の1台分のみの出力となります。
※本製品のS端子はS1端子に対応しています。
※アンテナケーブル(F型コネクター)は今までテレビに接続していたアンテナケーブルをお使いください。
※テレビの入力端子が2つしかない(赤色コネクターがない)ときは、ビデオ/オーディオケーブルの黄色と白色のコネクターで本製品とテレビを接続してください。

右上につづく

3 リモコンの準備をします

❶ 電池を入れます

単四形乾電池2本を図のように⊕と⊖の向きに注意してリモコンに入れてください。

※付属の電池は動作確認用です。短い期間で消耗してしまうことがありますので、早めに新しい電池とお取替えください。

❷ 付属のリモコンでテレビを操作できるように設定します

1 テレビの電源スイッチでテレビの主電源を入れます。

※まだ付属のリモコンでテレビの電源を入れることはできません。

2 (戻る)ボタンを押しながら、下記の表を参照して、お使いのテレビのメーカー設定番号(1～12)を押します。

3 (戻る)ボタンから指を離します

■ テレビのメーカー設定番号

例）パナソニック1：(戻る)ボタンを押しながら、10を押して、1を押す。

※1つのメーカーでも複数の設定番号があります。動作が確認できるまで設定番号を変えてお試しください。設定番号を変えて試すときは、一度リモコンの電源ボタンから指を離し、再度手順1から行ってください。
※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。本製品に付属のリモコンが使用できる場合でも、テレビに付属のリモコンは破棄せずに大切に保管してください。

メーカー	設定番号
パナソニック(旧:松下電器)1	10を押して、1を押す
パナソニック(旧:松下電器)2	10を押して、2を押す
パナソニック(旧:松下電器)3	10を押して、3を押す
シャープ1	10を押して、4を押す
シャープ2	10を押して、5を押す
シャープ3	10を押して、6を押す
ソニー1	10を押して、7を押す
ソニー2	10を押して、8を押す
東芝1	10を押して、9を押す
東芝2	1を押して、10を押す
日立1	1を押して、1を押す
日立2	1を押して、2を押す
日立3	1を押して、3を押す

メーカー	設定番号
三菱1	1を押して、4を押す
三菱2	1を押して、5を押す
三洋1	1を押して、6を押す
三洋2	1を押して、7を押す
ビクター1	1を押して、8を押す
ビクター2	1を押して、9を押す
ビクター3	2を押して、10を押す
NEC1	2を押して、1を押す
NEC2	2を押して、2を押す
パイオニア	2を押して、3を押す
富士通ゼネラル	2を押して、4を押す
アイワ1	2を押して、5を押す

メーカー	設定番号
アイワ2	2を押して、6を押す
アイワ3	2を押して、7を押す
船井1	2を押して、8を押す
船井2	2を押して、9を押す
船井3	3を押して、10を押す
船井4	3を押して、1を押す
船井5	3を押して、2を押す
SAMSUNG	3を押して、3を押す
LG	3を押して、4を押す
ORION	3を押して、5を押す
PHILLIPS1	3を押して、6を押す
PHILLIPS2	3を押して、7を押す

⚠注意

リモコンの電池交換をした場合や、本製品を他のテレビに接続した場合は、上記のリモコンの準備を初めからやり直してください。

❸ テレビを操作できるか確認します

(テレビ)電源ボタンを押してテレビの電源を入/切できるか確認してください。

変更できないときは、手順❷を再度行ってください。
設定が完了すると、[テレビ]と記載された枠内のボタンでテレビを操作できるようになります。

4 初期設定を行います

テレビ画面の表示にしたがって本製品の初期設定を行います。

❶ 本製品前面の電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの右上にある(電源)ボタンを押してください。

電源ランプが青色に点灯します(すでに青色に点灯しているときは、そのまま手順❷へお進みください)。

※本製品前面の(電源)ボタンを押しても本製品の電源を入/切することができます。

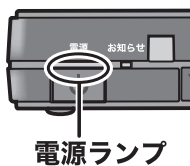
❷

はじめに BUFFALO

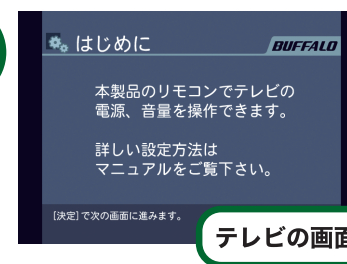
本製品のリモコンでテレビの電源、音量を操作できます。

詳しい設定方法はマニュアルをご覧下さい。

[決定]で次の画面に進みます。

テレビの画面

左の画面が表示されるまでリモコンの左上にある(入力切換)ボタンを押します。

(ビデオ1、ビデオ2等の外部入力に切り換えます)。

※切り換わらない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。

❸ リモコンの(決定)ボタンを押します。

❹ お使いのテレビがワイドテレビ型かを選択し、リモコンの(決定)ボタンを押します。

❺ 画面の指示にしたがって接続の確認を行い、リモコンの(決定)ボタンを押します。

❻ お住まいの地方/地域をリモコンの上下ボタンで選択し、(決定)ボタンを押します。

❼ チャンネル検索が開始されます。

※チャンネル検索には最大10分程度時間がかかります。
10分経過してもチャンネルの検索が完了しないときは、本製品に接続されているACアダプターを取り付け直してください。
本製品起動後、手順❶から再度やり直してください。

リモコンの使用可能範囲

本製品を操作するときは、受光部に向かって次の範囲で操作します。

※受光部とリモコンの間を遮るような物を置かないでください。

❽ チャンネル検索が完了すると、[リモコンボタン割当設定]画面が表示されます。

通常は初期設定のままリモコンの(決定)ボタンを押してください。

※リモコンの数字ボタンに割り当てる放送局を変更したい方は、各番号欄でリモコンの方向ボタン(右/左)を押して変更することができます。

初期設定が完了すると、検索したチャンネルの番組がテレビに表示されます。

うら面につづく

地上デジタル放送を視聴します

初期設定完了後、本製品の電源を入れるとテレビ画面に地上デジタル放送が表示されます。
リモコンで次のような操作をすることができます。

チャンネルを変えます

チャンネルは、リモコンのチャンネル上下ボタン(または数字ボタン)か、本体前面のチャンネル上下ボタンで変更します。

マルチチャンネルの切り替えについて

現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字ボタンを2回以上押すとマルチチャンネルに切り替わります。
また、チャンネル上下ボタンを押すと、マルチチャンネルも含めて全てのチャンネルを一つずつ順に表示を切り換えます。

※マルチチャンネルとは、放送局がハイビジョン放送1番組の代わりに標準画質放送を同時に複数番組(2〜3番組)放送するチャンネルのことです。

字幕表示に切り換えます

字幕放送対応の番組では、リモコンの 字幕 ボタンを押すと字幕放送が表示されます。

※字幕放送に対応していない番組では、字幕 ボタンを押しても字幕は表示されません。
※字幕の表示には、ボタンを押してから3秒程度時間がかかることがあります。ボタンを押してから字幕が表示されるまでしばらくお待ちください。

現在放送している番組の一覧を見ます

リモコンの 番組表 ボタンを押すと、現在放送している番組の一覧を表示します。
一覧から番組を選択し、リモコンの 決定 ボタンを押すと選択した番組に表示を切り替えます。

※初期設定直後は視聴したことのある放送局以外の番組は表示されません(全てのチャンネルを一度視聴することで、番組一覧に情報が登録されます)。
待機状態のとき(電源ランプが赤色点灯)に、３時間に１度番組情報(１日分)の取得を行います。

ズームボタンで適切な表示に切り換えます

画面に黒い帯があるときは、リモコンの ズーム ボタンで全画面表示に切り換えることができます。

ズームボタンを押すと

左右の一部がカットされ、画面いっぱいに表示されます。

上下に帯が入って表示されている。

ズームボタンを押すと

BUFFALO

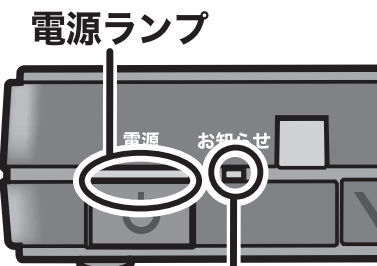
画面いっぱいに表示されます。

上下・左右に帯が入って表示されている。

※映像によっては ズーム ボタンを押しても黒い帯が表示されることがあります。このようなときは、お使いのテレビのマニュアルを参照して表示設定を調整してください。

ランプが点灯したら (本製品のシステム更新のお知らせなど)

お知らせランプ **橙色点灯**　本製品についてのお知らせがあります。リモコンの メニュー ボタンを押し、「お知らせ」からお知らせの内容を確認してください。

システムの更新の場合、テレビの電波を使って本製品のシステムが自動的に更新されます。
本製品の設定画面「お知らせ」で更新時間を確認し、更新する時刻の10分前には、本製品を待機状態(電源ランプが赤色点灯)にしてください。更新中は画面に注意が表示(お知らせランプが橙色点滅)されます。画面の指示には必ず従ってください。更新が完了すると、本製品の設定画面「お知らせ」に更新完了のメッセージが表示されます。

- お知らせランプ **橙色点滅**　アップデート中
- 電源ランプ **赤色点灯**　電源切(待機状態)
- 電源ランプ **青色点灯**　電源入(テレビの視聴中)
- 電源ランプ **赤色点滅**　起動エラー(ACアダプターを接続しなおしても赤色点滅するときは、弊社修理センターに修理をご依頼ください。)
- 電源ランプ **青色点滅**　起動中
- 電源ランプ **消灯**　ACアダプターを接続していない状態

本製品の設定

リモコンの メニュー ボタンを押すと、本製品の設定画面を表示することができます。設定画面では、次のことが設定できます。

設定画面

チャンネル設定	**チャンネル取得**	チャンネルの検索を行い、自動でチャンネルを設定します。(引越しなどで電波の受信方法が変更されたときにチャンネル取得を実行し、チャンネルを再設定します。)
	リモコンボタン割当設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
本体設定	**テレビ画面の設定**	テレビに応じて「ワイドテレビ(16:9)」「標準テレビ(4:3)」を選択します。
	D端子出力の設定	D端子で接続した場合、D端子設定をD1、2、3、4から選択します。
	文字スーパーの設定	文字スーパーを「日本語」「英語」「なし」から選択します。
	LEDの明るさ調節	本製品前面のランプの明るさを５段階で調節できます。
	設定初期化	工場出荷時の設定に戻します。
情報表示		本製品のシステムのバージョン、B-CASカードの情報を表示します。
アンテナ表示		チャンネルの電波の強度を表示します。
お知らせ		放送局、受信機からシステム更新のお知らせがある場合には、メッセージを表示します。

各部の名称とはたらき

リモコン

電源ボタン	本製品の電源を入/切します。
電源(テレビ)ボタン	テレビの電源を入/切します。
入力切換(テレビ)ボタン	テレビを外部入力(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えます。
字幕ボタン	字幕の表示を切り換えます(第1→第2→なし)。
音声切換ボタン	音声出力を切り換えます(主副:主+副→主→副、多国語:第1→第2→・・・)。
戻るボタン	前の画面に戻ります。
メニューボタン	本製品の設定画面を表示します。
方向ボタン	カーソルを移動します。
決定ボタン	選択した項目を決定します。
画面表示ボタン	視聴中の番組情報を表示します。
番組表ボタン	現在放送している番組一覧を表示します。
数字ボタン	チャンネル番号を入力します。
チャンネル上下ボタン	チャンネルを切り替えます。
ズームボタン	画面に黒い帯があるときに全画面表示に切り替えることができます。
音量(テレビ)ボタン	テレビの音量を調整します。
消音(テレビ)ボタン	テレビの音声を消音する/しないを切り替えます。

※「テレビ」と記載された枠内のボタンは、リモコンをテレビに向けて操作してください。それ以外のボタンは本製品にリモコンを向けて操作してください。

本体前面

本体側面

本体背面

変換ケーブル

①	**電源ランプ**	**消灯:** ACアダプターを接続していない状態 **赤色点灯:** 電源切(待機状態) **赤色点滅:** 起動エラー(ACアダプターを接続しなおしても赤色点滅するときは、弊社修理センターに修理をご依頼ください。) **青色点灯:** 電源入(番組視聴中) **青色点滅:** 起動中
②	**電源ボタン**	電源を入/切します。 ※長時間使用しないときは、ACアダプターを本製品から取り外してください。
③	**お知らせランプ**	**橙色点灯:** お知らせに未読メッセージがあります。左ページの「お知らせランプが橙色に点灯したら」をご参照ください。 **橙色点滅:** アップデート中
④	**赤外線受光部**	リモコン信号の受光部です。 ※受光部の前に物を置くなどして、信号を遮らないでください。
⑤	**チャンネル上下ボタン**	チャンネルを切り替えます。
⑥	**B-CASカード挿入口**	付属のB-CASカードを挿入します。
⑦	**地デジアンテナ入力端子**	地上波デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販のF型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。
⑧	**複合出力端子**	付属の変換ケーブルを接続します。
⑨	**D端子**	D端子ケーブルでテレビと接続できます。市販のD端子ケーブルを別途ご用意ください。
⑩	**電源コネクター**	付属のACアダプターを接続します。

⑪	**コンポジットビデオ出力(黄)**	付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
⑫	**アナログ音声出力端子(左:白)**	
⑬	**アナログ音声出力端子(右:赤)**	
⑭	**S端子**	S端子ケーブルでテレビと接続できます。 市販のS端子ケーブルを別途ご用意ください。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）をご参照ください。

受信放送方式	地上デジタル放送(ISDB-T)
地上デジタル放送受信チャンネル	VHF 1ch〜12ch、UHF 13ch〜62ch、CATV C13ch〜C63ch
アンテナ入力	F型コネクター(入力インピーダンス75Ω)
対応機能	CATVパススルー、字幕放送、簡易番組表(現在放送している番組の一覧)
出力端子	Mini-DIN 7ピン(変換ケーブル接続用) コンポジット映像端子(RCAピン端子・変換ケーブル使用) ステレオ音声端子(RCAピン端子・変換ケーブル使用) S端子(Mini-DIN 4ピン・変換ケーブル使用) D端子(D1〜4端子)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	5W
外形寸法	W125xH28xD143mm（突起部含まず）
重量	約265ｇ(本体のみ)
動作環境	温度0〜40℃、湿度10〜80%(結露なきこと)

※本製品は、データ放送および双方向サービスには対応しておりません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

らくらく！セットアップシート　2010年5月17日　第4版発行　　発行／株式会社バッファロー